

33 薬用作物等地域特産作物産地確立支援事業

【500（400）百万円】

対策のポイント

薬用作物等について、地域ごとのほ場条件にあわせた栽培技術等の最適化を図るため、産地固有の課題解決に向けた取組を支援します。

<背景／課題>

- ・漢方製剤・生薬の原料となる薬用作物は、8割以上を中国からの輸入に依存していますが、漢方薬メーカーからの要望もあり、国内需要の拡大が見込まれ、また耕作放棄地の活用や中山間地域の活性化につながる作物として国内生産への関心が高まっています。
- ・薬用作物は、一定の品質をクリアするための栽培技術の確立など生産上の課題への対応が必要なことから、厚生労働省や研究機関と連携して生産体制を整備することが求められています。

政策目標

薬用作物の試験栽培等を通じて新たな産地を創出し、国内生産量を1.5倍に拡大
(900トン（平成22年度）→1,350トン（平成28年度）)

<主な内容>

薬用作物等産地確立支援

薬用作物等の産地形成を促進するために、以下の取組を支援します。

- (1) 地域ごとの気象条件・土壌条件等に適した品種の選定や栽培マニュアルの作成
- (2) 安定した生産に資する栽培技術確立のための実証ほ場の設置
- (3) 低コスト生産体制の確立に向けた農業機械の改良等

（補助率：定額、1／2以内）
（事業実施主体：民間団体等）

<各省との連携>

- 厚生労働省
 - ・漢方薬メーカーの需要情報の取りまとめ、提供
 - ・薬用作物の新たな育種、栽培、生産技術に関する研究の推進

[お問い合わせ先：生産局地域作物課（03-6744-2117）]

薬用作物等地域特産作物産地確立支援事業

- 薬用作物は、その8割以上を中国からの輸入に依存。
- 一方、耕作放棄地の活用や中山間地域の活性化につながる作物としての関心が高い。

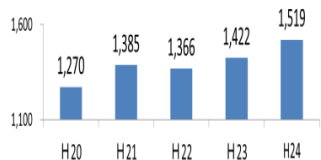
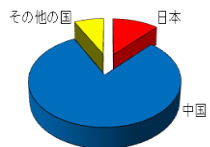
実需者(漢方薬メーカー)

- ・原料を中国に依存
- ・輸入価格の上昇
- ・漢方薬需要の増大

国内での
安定供給
を希望

○漢方製剤等の原料生産国 ○漢方製剤等の生産金額の推移

(単位:億円)



産地

- ・所得を増やしたい
- ・地域を活性化したい
- ・耕作放棄地を解消したい

しかし、
何を栽培して
よいのか
分からない!



情報交換

国内での生産を
希望する品目

etc

サイコ、シャクヤク、
トウキ、ボウフウ、
カノコソウ、センブリ、
オタネニンジン
etc



栽培可能な
品種・面積 etc

産地側と実需
者のマッチング



を促進

産地化への対応方向

課題

- 契約栽培の相手先をどう見つけるのか。
- 「日本薬局方」に定める品質規格をクリアするための栽培技術の定着が必要。
- 使用できる農薬、農業機械が少ない。等の課題が存在。

産地化の取組

- 実証等による栽培技術の確立
- 農業機械の改良
- 栽培マニュアルの作成

産地化を促進

新たな国内産地を形成しつつ
観光・医療福祉とも連携する「攻めの農林水産業」を実現